



ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE 第1戦 SUGO スーパー耐久4時間レース

Race Report

今年も大盛況なスーパー耐久シリーズ。
チームやドライバーの顔ぶれはもちろんパドックでの催し物
やコンテンツも盛り上がりレースファンには嬉しい
イベントになってきました。

昨年に続き各クラスで新型車両の投入やカーボンニュートラル
へ向けた挑戦、新技術への挑戦はS耐ならでは。
車好きにとっても今後もS耐から目が離せない。

今期当チームは昨年に続きST3の2台とST4にGR86で挑戦。
Wタイトルを獲得しても手を緩める事なく、
今年も全クラス全力で挑みたいと思います！



#38

TRACY SPORTS with DELTA RC350 TWS

ST1

予選結果 1位

決勝結果 1位

A:Dr 石塚 崇宣

B:Dr 石森 聖生

C:Dr 尾崎 俊介



今季のST3クラスは若干参戦台数が減少したが
車両のポテンシャルは相変わらず僅差のこのクラス。
今年も最後まで激戦が繰り広げられる予感。

当チーム#38と兄弟車のRC350今季も「若者にチャンスを」
というコンセプトで参戦。とはいえ2年目のドライバーも在籍し、
これまでの経験を活かす戦いに期待がかかる。
そして昨年のチャンピオンとして恥じない戦いを。
結果としてはポルトゥウィンではあるが余裕は無くライバルのタイムは
常に僅差。ピット戦略も相まって好成績を残せたが決して楽観はできない。
一先ずは良いスタートを切れた開幕戦となった。

39

エアバスター Winmax RC350 TWS

ST3

予選結果 4位

決勝結果 2位

A:Dr 藤田 真哉

B:Dr 庄司 雄磨

C:Dr 伊藤 鷹志



こちら伊藤鷹志選手に続き若手ながら経験者がステアリングを握る。チームの空気は良くもちろん予選で1位を取れる実力も健在。今季当チームに復帰した庄司選手はブランクを感じさせる事はない。

今年から予選の仕組みが変更となりノックダウン制となった。Q1で上位半数がQ2Aに進み下位半数はQ2Bでアタックをし、Q2のタイムのみでスタート順位が決定する事となった。少々不利なポジションからのスタートとなったがスタートから上位陣に食らいつき安定した走りタイムを刻み走行を重ねる。途中荒れる場面やヒヤリとさせられる場面もあったが無事2位でチェッカーを受け当チームにとって1-2となった。

#41

エアバスター WINMAX GR86 EXEDY

ST4

予選結果 1位

決勝結果 5位

A:Dr 石井 宏尚

B:Dr 冨林 勇佑

C:Dr 水野 大



昨年ST4クラスで当チーム初のGR86でのチャンピオンに輝いたが体制に変更はなく強豪揃いのST4クラスで2連覇を狙う。順調な走り出しではあるがライバルも順調そのもの。木曜から接戦を予感させるセッションタイムを目にする事となる。しかし予選ではQ1担当の石井選手がレコードタイムをマークする。Q2でも冨林選手がさらにタイムを短縮しチーム内でレコード合戦。文句無しのポールポジションとなった。決勝では序盤から冨林選手を筆頭にハイペースな攻防が繰り広げられる。トップの座を譲る事なく3ピット作戦の為早めにピットイン。石井選手にバトンを託す。石井選手も良いペースで義務時間を消化。水野選手も2人に遅れる事なく攻めたが障害物とヒットし車両に深刻なダメージを負う。修理を余儀なくされ5位と悔しい結果となった。

